

2023

令和5年7月12日

第23号

(通算69号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

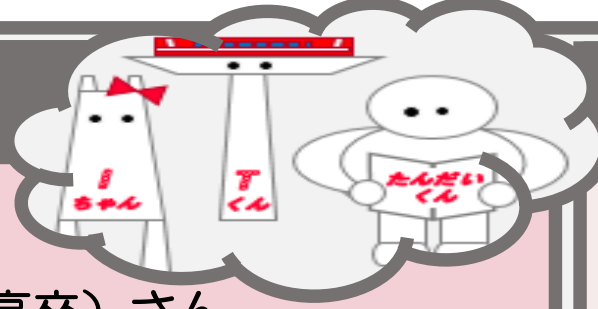
IT短大VIEW!



1 就職合格、嬉しい報告!

本校で学ぶIT専門技術と卒業生の活躍が注目されています。合格を頂いた企業と学生は次のとおりです。「常陽銀行」山田彩乃(水戸啓明高卒)さん

「株式会社 日立ハイテクマニファクチャ&サービス」鶴巻陽太(中央高卒)さん



4 記事トレ!

本校では、IT専門力に加え、社会人基礎力の向上のために、「記事トレ」を実施しています。新聞を読んで考える事で、読み解く力を育成します。

<記事> 茨城新聞(2023年7月5日)
喜怒哀楽 読者と共に

◇要約

●塩野凌久さん(佐和高卒)
茨城新聞は7月5日で創刊132周年になった。そのような中、記者の河原井美月さんは、日々現場に足を運び五感を使い取材している。配属から3カ月、彼女は喜怒哀楽を読者と共にできる記事を届けたいと思っている。

◇感想

●坂井恭吾さん(水戸桜ノ牧高卒)
新聞の力は凄と思った。新聞は事件事故などのニュースの他に、地域の些細なニュースまで載っている。地域のことをたくさん知ることができます。もっと新聞を読んでみようと思った。

●鈴木真帆さん(土浦三高卒)
雪国で育ち、茨城という未知の土地に来た。地域の人々と関わりを持ち、県民、読者のために「足で書く記者」として頑張っている姿がかっこいいと思った。

私も誰かのためになる行動を自らできるように頑張りたい。

●赤津拓実さん(水城高卒)
現場を歩いて顔の見える関係を築き、五感を使って取材。正に「足で書く記者」として日々汗を流していると感じた。新聞なんて今まで全然読む気にならなかったけど、一生懸命書いてくれているので新聞を読んでもみることにします。

●佐藤勝輝さん(日立商高卒)
取材でお世話になった人から温かい言葉をもらうことがある。取材を重ね、言葉を紡いだ苦勞が報われると話しており素晴らしい。

辛いニュースを扱うこともあるが、曇りのない耳目で取材し、正確に伝わる記事を書き続けて欲しい。



左から 山田彩乃さん、鶴巻陽太さん

Q1 これからのIT活用と抱負?

A1 ヤマダさん
「常に技術を学び続け、新しいことに挑戦し続ける技術者」
鶴巻さん
「チャレンジ精神のある技術者」

Q2 あなたの趣味は?

A2 山田さん「音楽を聴く事、動画を見る事」 鶴巻さん「ウォーキング」

Q3 本校での学びと成果は?

A3 山田さん「忍耐力:グループ活動などで、困難な状況になっても最後まで諦めず取り組みました」
鶴巻さん「基本情報技術者試験に合格できたこと」



2 「Bravo 茨城!」⑥



左から ディアナさん シハブさん

「Bravo茨城!」もNo.6となります。本校のインドネシア留学生(ディアナさんとシハブさん)が、笠間の陶芸にチャレンジしました。ディアナさんは「伝統的な陶器づくりを体験することが出来ました。作りたいものと少し違いましたが、きれいに仕上がりました」シハブさんは「手びねりでの挑戦で、とても難しかったです。でも、焼きあがった作品を見たら、まあまあの仕上がりでした」と嬉しそうに話していました。

3 基本情報、午後問スタート



授業風景

基本情報技術者試験の午後問題学習がスタートしました。この日は、1年生全員で「科目B」のアルゴリズムや疑似言語の記述形式を確認し、テキストの演習問題に取り組んでいました。

